



三菱ガス化学株式会社

平成 20 年 7 月 30 日

ポリカーボネート樹脂の減産について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫、以下「MGC」という）は、鹿島工場（茨城県神栖市）で生産しているポリカーボネート樹脂（商品名：ユーピロン®）を当面の間、減産することを決定いたしました。減産幅は最大 20%を予定しております。

MGC は三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社（本社：東京都中央区、社長：喜嶋安彦）を通じてポリカーボネート樹脂を販売しておりますが、昨今の原油価格高騰を背景として原燃料価格が上昇する一方、景気減速の影響により国内需要が軟化し、市況も低迷していることから、事業採算は大幅に悪化しております。MGC はこうした状況を鑑み、減産を決定いたしました。

なお、減産幅および減産解除時期につきましては、今後の原燃料価格およびポリカーボネート樹脂市場の動向を勘案した上で、総合的に判断してまいります。

[ご参考] MGC のポリカーボネート樹脂について

商品名： ユーピロン®

国内生産能力： 鹿島工場 11 万トン/年

<本件に関するお問合せ>

広報 I R 部 興石

TEL. 03-3283-5041